

令和3年度 第1回 消費生活eモニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎暮らし向きについて

令和3年5月の月例経済報告（内閣府）で、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。」と報告されています。

先行きについては、「感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。」としています。

消費者の暮らし向きについて、今後の行政の参考資料とするために調査しました。

このアンケートは、令和2年度まで実施していた消費生活モニターのアンケートと内容のものを含んでいます。その部分については過去の調査結果と比較し、消費者意識の変化の把握に努めています。

◎エシカル消費について

『人と社会、地球環境、地域のことを考慮して作られたモノ』を購入・消費することを【エシカル消費】と言います。エシカル消費を意識した行動は、「消費者一人ひとりが消費を自分の満足のためだけではなく、周りの人々や将来生まれる世代、社会や経済情勢、地球環境などに広く影響を及ぼすことを認識して消費生活を行い、社会の発展と改善に積極的に参加する社会」を意味する【消費者市民社会】の普及につながります。そこで、「エシカル消費」に関する意識調査を実施し、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

2 調査事項

「Ⅰ. 暮らし向きについて」、「Ⅱ. エシカル消費について」

3 調査対象 令和3年度消費生活eモニター 41名

（Ⅰ. 回答者数39名・回収率95%、

Ⅱ. 回答者数36名・回収率88%）

4 調査方法 市ホームページの回答フォームによる

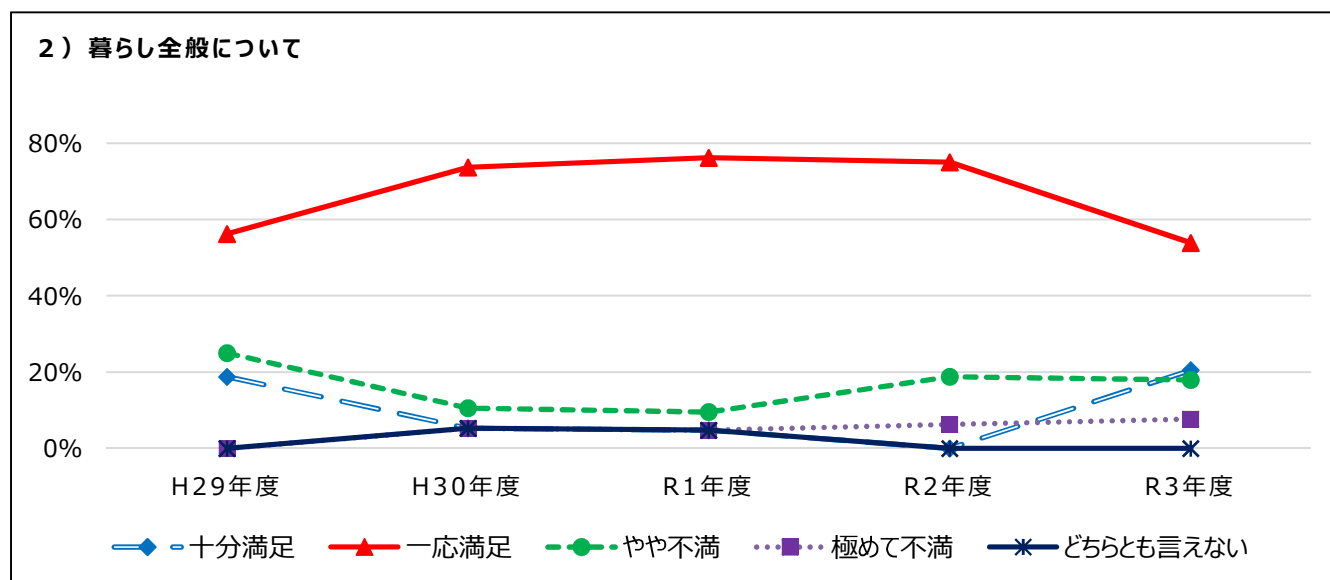
- 集計結果について、四捨五入の結果や複数回答の集計によるため、合計が100%とならない場合がございます。
- 調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」から「未提出者」を除いた数としました。
- 自由回答は一部抜粋。



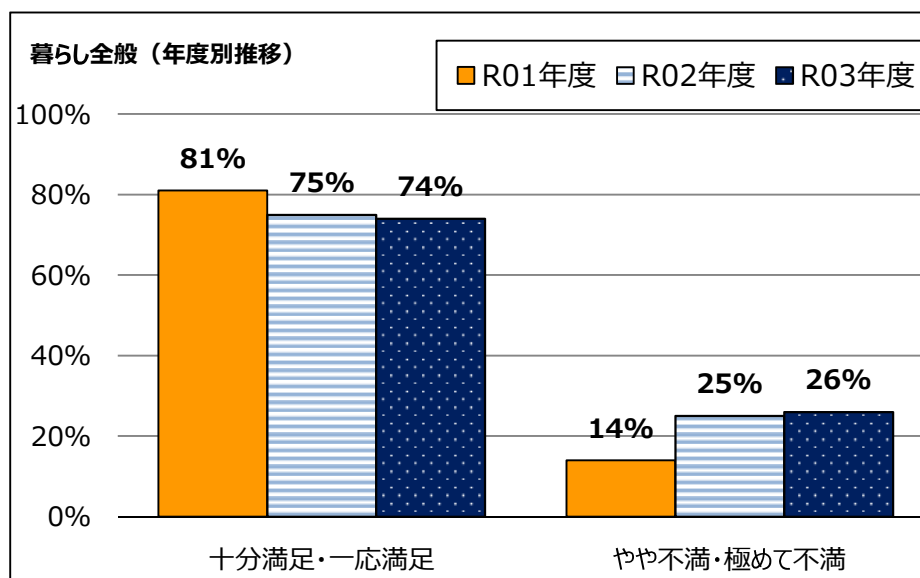
I. 暮らし向きについて

※令和2年度まで実施していた消費生活モニターのアンケートと同内容のものを含んでいるため、その部分については過去の調査結果と比較しています。

2～6) 家庭の暮らし向きについてお伺いします。2) 暮らし全般について 3) 衣生活について
4) 食生活について 5) 住生活について 6) レジャー・余暇の生活について



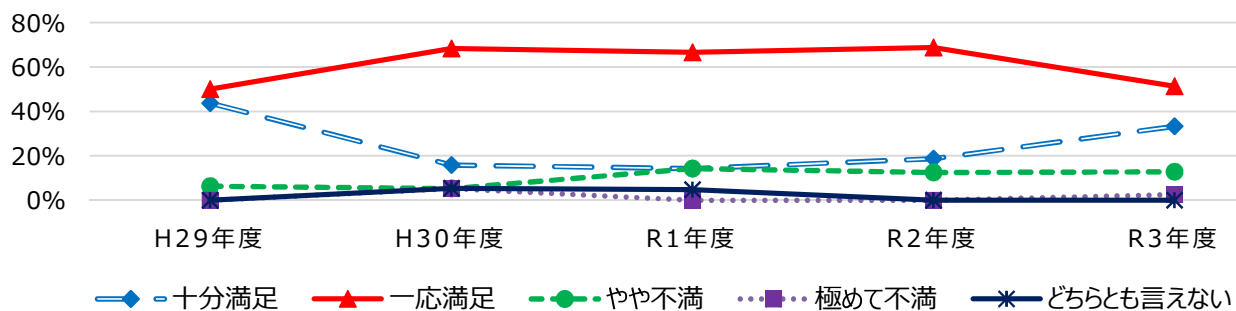
★ 暮らし全般については、昨年度より『十分満足』との回答が増加し、一方で『一応満足』との回答が減少しています。『やや不満』の回答は、令和2年度からやや高いポイントが続いています。



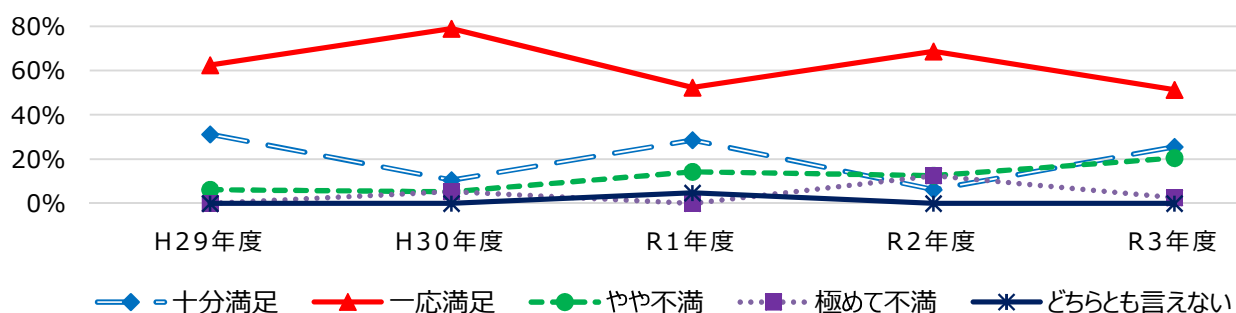
また、暮らし全般の満足度について、令和3年度は令和2年度とほぼ同様で令和元年度と比べ、『十分満足・一応満足』の割合がやや減少し、『やや不満・極めて不満』の割合は増加しています。



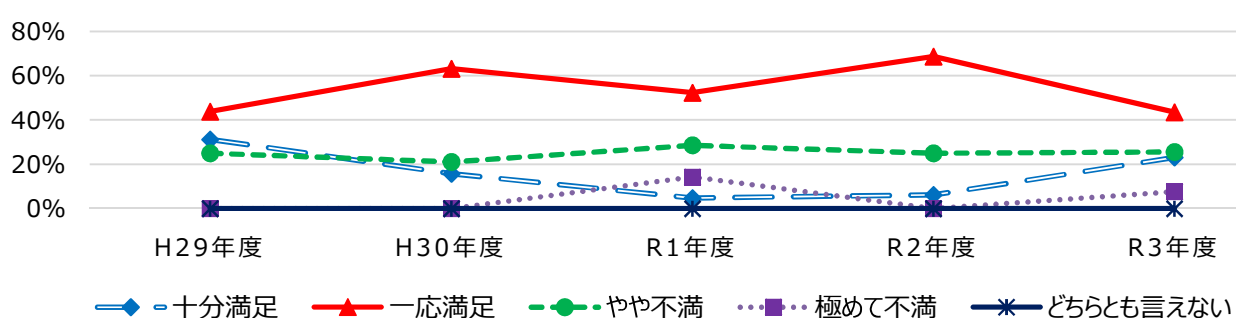
3) 衣生活について



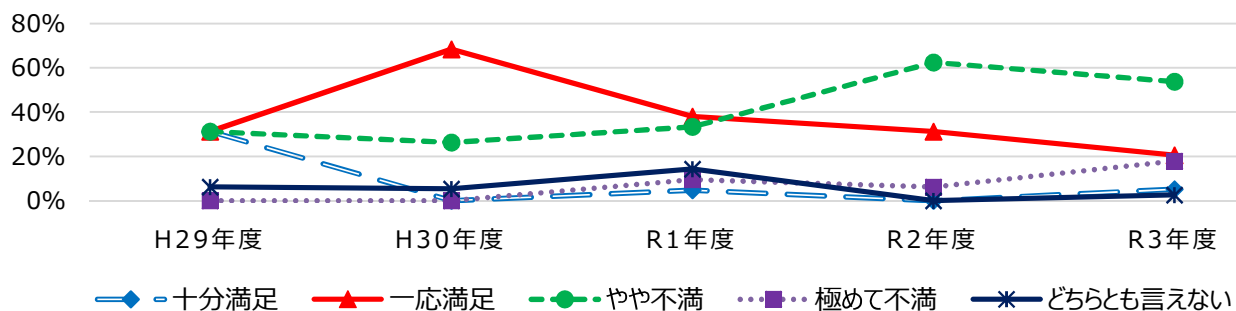
4) 食生活について



5) 住生活について

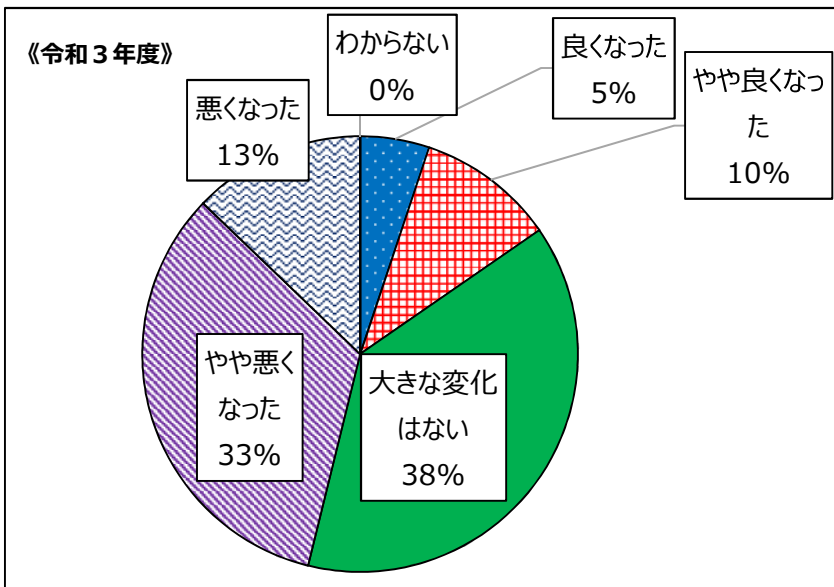
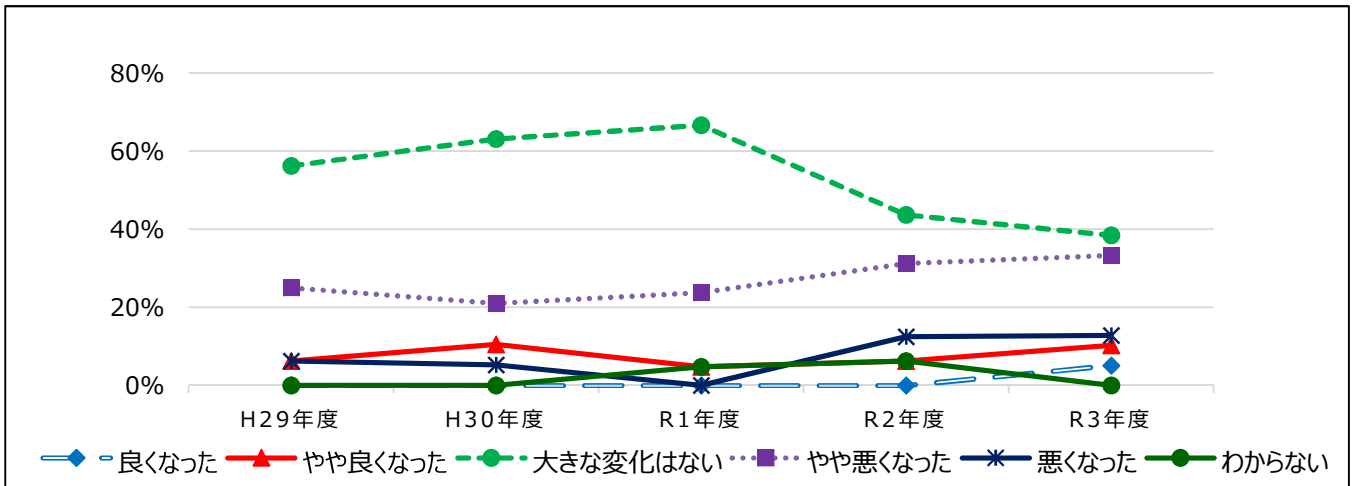


6) レジャー・余暇について



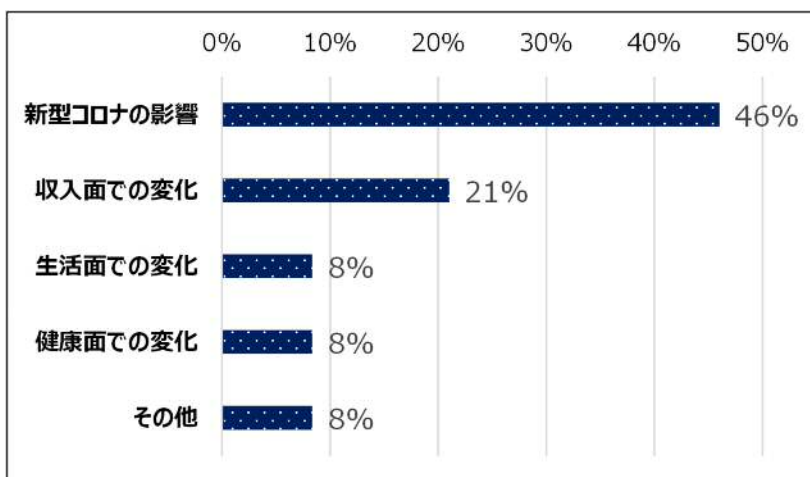
★ いずれも昨年度より『一応満足』との回答が減少しています。衣生活、食生活、住生活ではその分、『十分満足』との回答の上昇がみられますが、レジャー・余暇では令和2年度から引き続き『やや不満』『極めて不満』との回答が高い割合を占めています。

7) 家庭の暮らし向きは、昨年と比べて変化はありましたか？



★ 昨年との比較での暮らし向きについて、令和元年度までは『大きな変化はない』との回答が過半数を占めていましたが、令和2年度以降 40%前後で推移しており、令和3年度は『やや悪くなった』、『悪くなった』との回答は合わせて 46%と大きな割合を占めています。

8) 7) で変化があったと答えられた場合、その変化の理由は何ですか？【2つまで回答可】



その他の内容

《良くなった・やや良くなった》

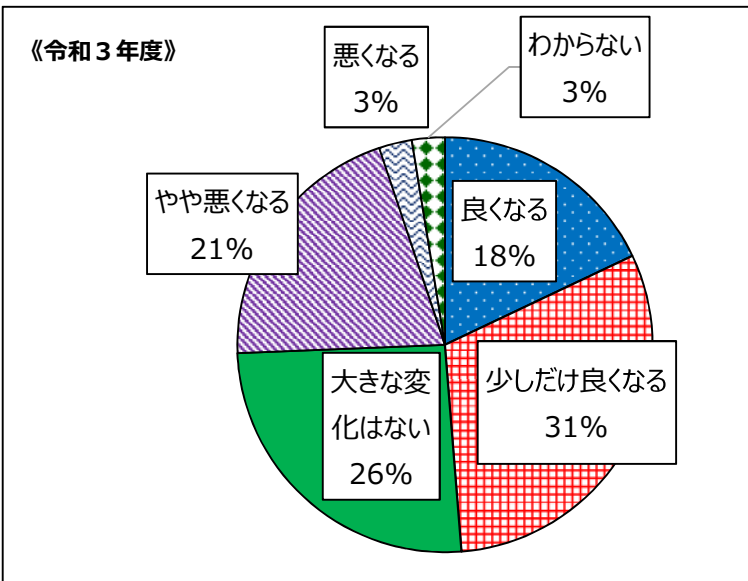
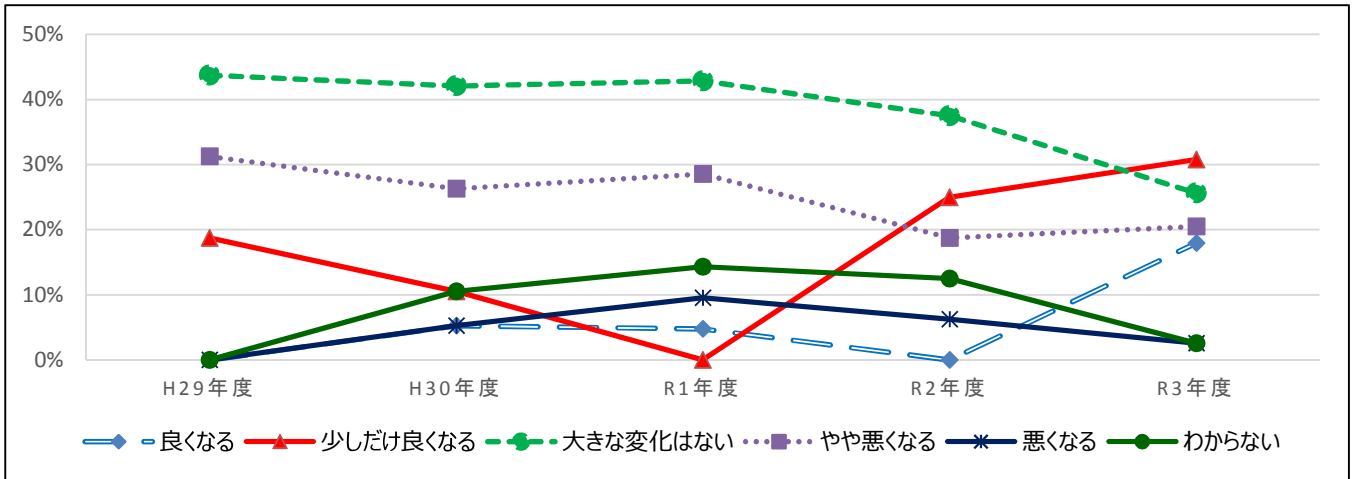
- ・子供が産まれた
- ・都内での仕事から、地元での仕事にシフトした。夫が在宅勤務になることで、家事育児の戦力になった。

《やや悪くなった》

- ・自治体で決められているゴミ収集場所での変化

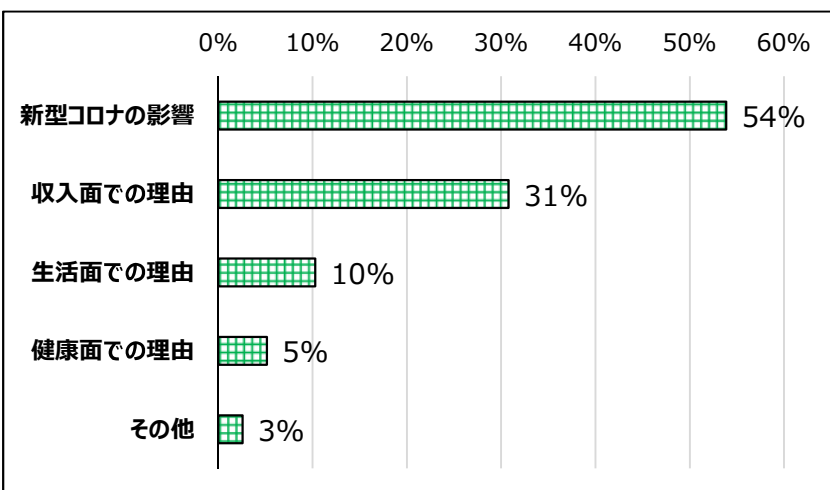
★ 変化があったとの回答の理由では、好転・悪転問わず、『新型コロナウイルス感染症の影響』が多く、50%近くを占めています。次いで多い『収入面での変化』は、専ら悪転したとの回答の理由として挙げられています。

9) 家庭の暮らし向きは、来年の今頃にはどのように変化していると思いますか？



★ 来年の暮らし向きの予想について、昨年度より『大きな変化はない』、『わからない』との回答が減少し、『良くなる』、『少しだけ良くなる』との回答が増加して、合わせて49%となりました。

10) 9) で変化していると思うと回答された場合、その変化の理由は何ですか？【2つまで回答可】



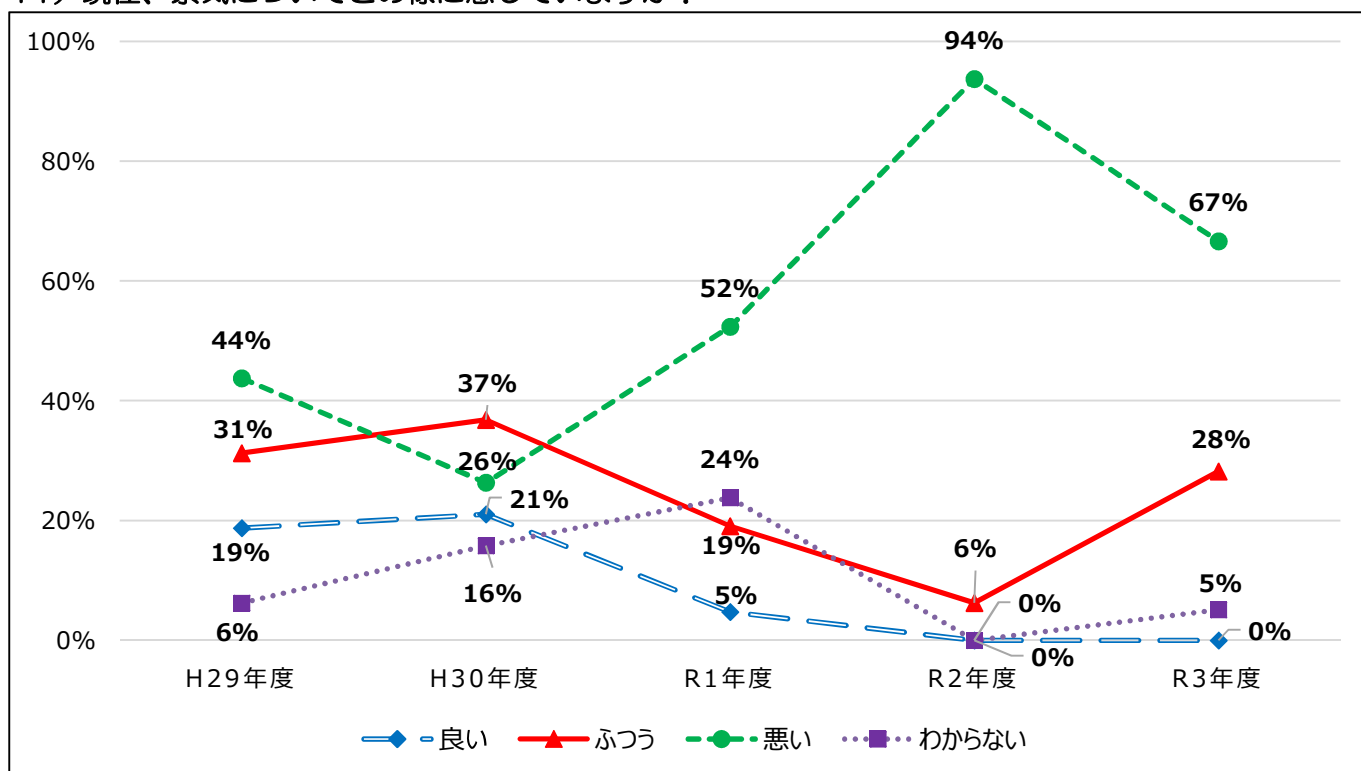
その他の内容

《良くなる》

- ・子供がもう1人増えているはず。

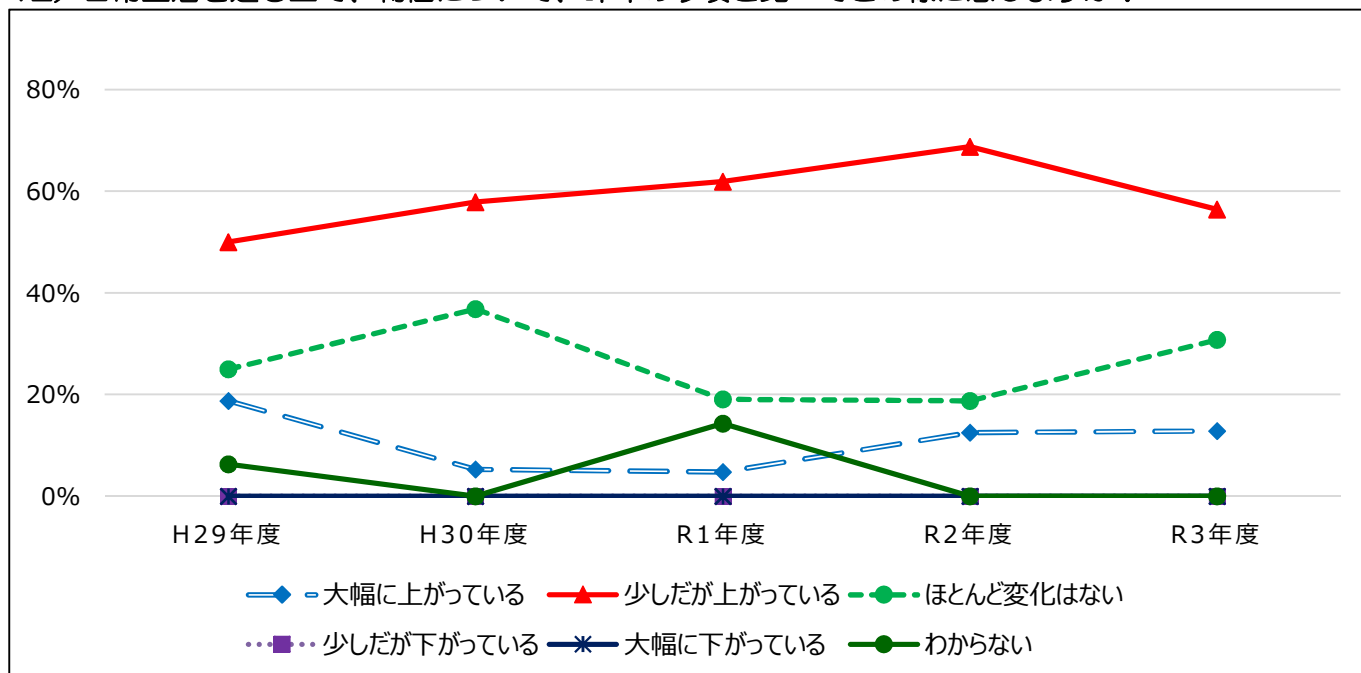
★ 変化があると思うとの回答の理由では、好転・暗転問わず、『新型コロナウイルス感染症の影響』が最も多く、54%を占めています。次いで『収入面での理由』、『生活面での理由』の順となっています。

11) 現在、景気についてどの様に感じていますか？



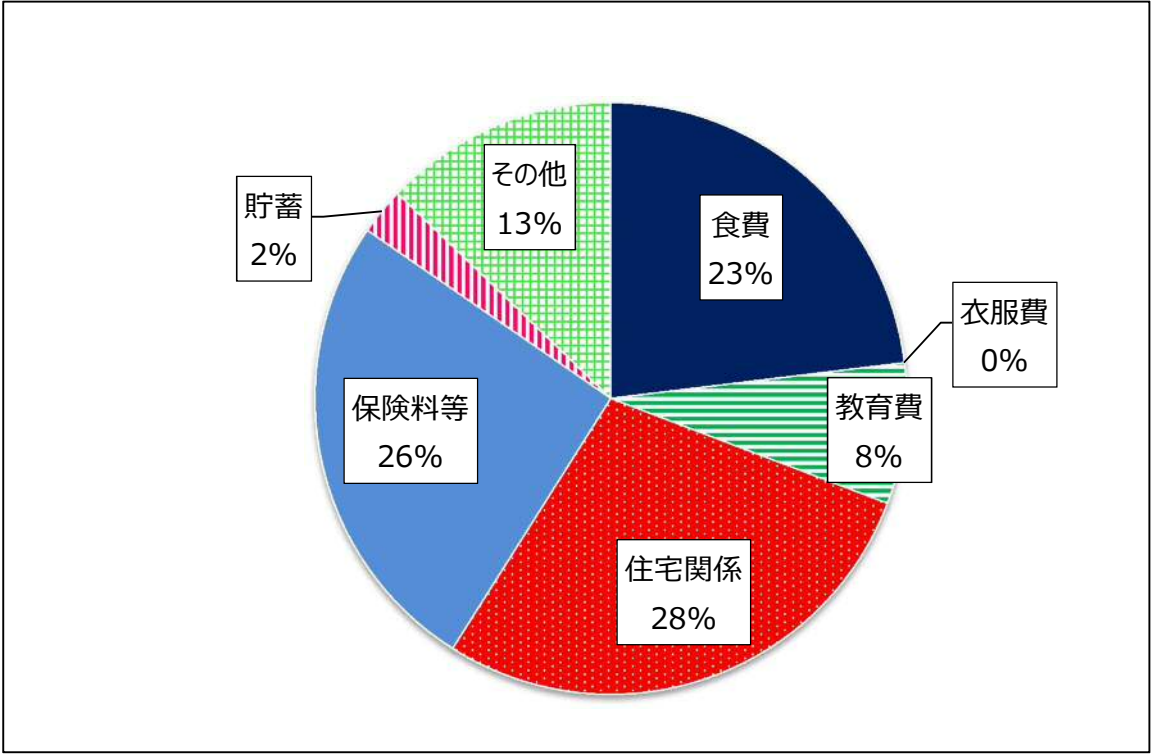
★ 景気について、『悪い』との回答が令和2年度の94%に比べ、令和3年度は67%に減少したものの、過去5年間で見てみると依然として高い水準です。『ふつう』との回答が令和2年度は6%でしたが、令和3年度は28%に増加しています。『わからない』との回答も、令和2年度の0%から5%に増加しています。

12) 日常生活を送る上で、物価について、昨年の今頃と比べてどの様に感じますか？



★ 物価について、『少しだが上がっている』との回答が、令和元年度、令和2年度と比べ減少していますが、過半数を占めています。『ほとんど変化はない』との回答は、令和2年度から10ポイント以上増加しています。

13) 日常生活を送る上で、現在1番生活を圧迫している費用は何ですか？



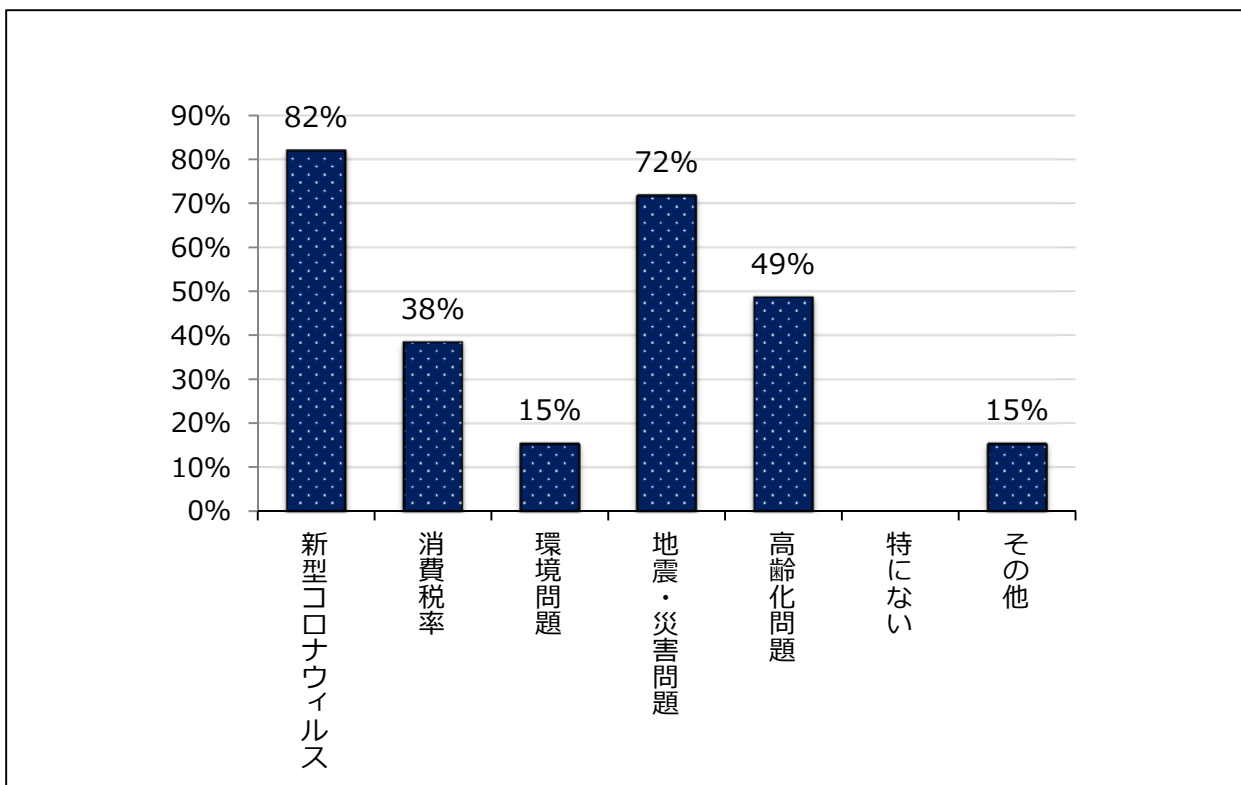
その他の内容

- ・不妊治療及び無痛分娩の費用、車検などの車の維持費
- ・ペット費用が増えている
- ・医療費
- ・借入金の返済
- ・特にない

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
平成 2 9 年度	食費	31%	住宅関係/ 貯蓄/その他	19%	教育費/ 保険料等	6 %
平成 3 0 年度	食費/教育費	26%	住宅関係	16%	保険料等/ 貯蓄/その他	16%
令和 1 年度	住宅関係	29%	教育費/その他	19%	食費/保険料等	14%
令和 2 年度	住宅関係	44%	食費	31%	保険料等	13%
令和 3 年度	住宅関係	28%	保険料等	26%	食費	23%

★ 第 1 位が「住宅関係」の 28%で、第 2 位が「保険料等」、第 3 位が「食費」となりましたが、第 1 位から第 3 位までは僅差の結果となりました。

14) 暮らしの中で不安に思うことはありますか？【3つまで回答可】



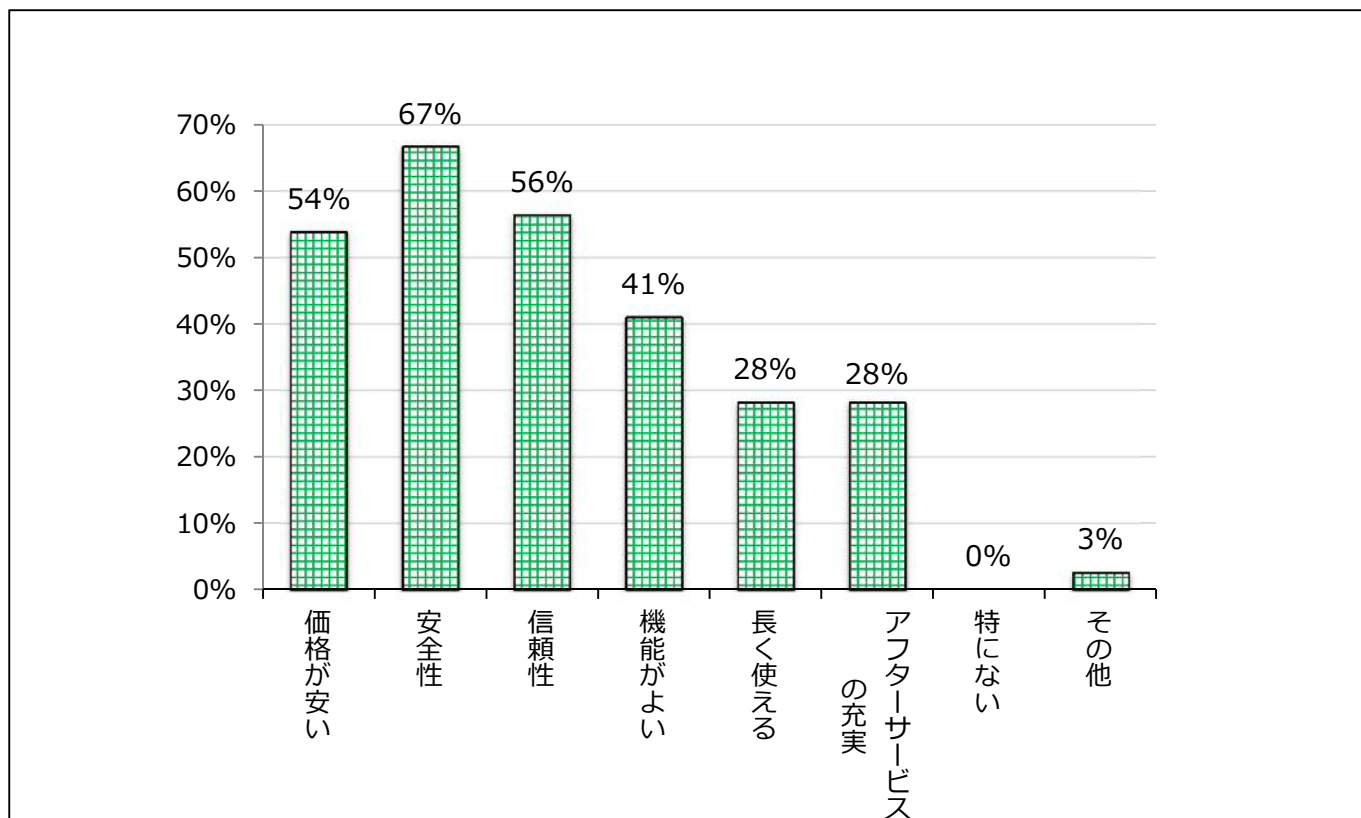
その他の内容

- ・マンションや土地などの値段の高騰
- ・教育費
- ・3人目の子供を持ちたかったが、経済的や保護者の人の手が足りない、保活問題などで見送り。
- ・健康
- ・飲食店閉業に伴う住環境の悪化

★ 「新型コロナウイルス」、「地震・災害問題」、「高齢化問題」、「消費税率」、「環境問題／その他」（同率）の順となりました。



15) 今後一年間商品やサービスを選ぶ際に重視することは何ですか？【3つまで回答可】



その他の内容

- ・店舗、店員との関係性

★ 「安全性」、「信頼性」、「価格が安い」、「機能がよい」、「長く使える／アフターサービスの充実」（同率）、「その他」の順となりました。

16)「ゆとりのある生活」とはどのような暮らしだと思いますか？

《自由意見》

- 無くても生活できる物、事を入手するなどして楽しめること。希望のタイミングで、教養や娯楽の時間を確保できること。
- 金銭的な恐怖がない生活。具体的には、生活費を賄うのに十分な収入が保証された状態。収入は、安定した仕事があることが一番であるが、コロナウイルスなどの影響で安定している仕事などないと感じている。そのため、セーフティーネットとしての公的扶助の仕組みがあることが「ゆとりある生活」と考える。
- まずは健康。次に人間関係が良好であることではないかと思います。すると、お金が後からついてきて、物質的にも豊かになれるのかなと考えております。
- 食費、教育費、住宅費でお金の心配なくなる。(大学の資金が高すぎて心配) 歯科検診や健康診断など3箇月に1度はなにかしら受けられる暮らし。(費用抑えめで) 困った時にハードルなく相談できる所があれば。(主にメンタル面)
- 時間とお金に余裕があり、物事の選択肢が多いこと。
- 何気ない日常の日々を過ごせる暮らしのことだと思います。たまに美味しいものを食べたり、友達に会って笑ったり、仕事をして充実感を得たり、健康に四肢を動かして洗い物や洗濯ができたり、寝ることができたりといった暮らしと考えます。
- 歩ける範囲内で不自由しない。季節の移ろいを感じられる。
- 個人のニーズにあった生活ができる
- 個々の生活リズムに合わせて仕事や休日を送れる生活。よりフレックスタイムが促進される社会。
- 経済的な問題より精神性を重要視する。少しくらい足りないものがあったって、心にゆとりある生活に幸福感を感じる。社会はマインドフルネスを応用して、心に平安を得るようにすべきだ考える。コロナで自らと向き合う事を迫られている。ひとりひとりが、何かを求められているのかを探る。今、必要な時期だと考える。ゆとりとはそこからこそ生まれると思う。
- 現役時期の税金が高くて、老後の生活(衣食住)が安心できること。将来の生活のために、現在の生活を切り詰めて貯金に回す必要がないこと。
- 毎日の生活や食生活が安定していること。時々、贅沢が出来れば良いと思う。家畜や、動物が無駄に殺生されることなく、人間が守っていけることができれば、精神面でも落ち着けると思う。コロナの影響で益々ぎすぎすとした社会になっているので、少しでも相手のことが思いやれる状態でいたいと思う。
- 生活費以外に自分の趣味に使えるお金があって、子供を好きなだけ作ることができる。



17) 新型コロナウイルス感染症による影響で、御自分の生活にどのような変化がありましたか？

《自由意見》

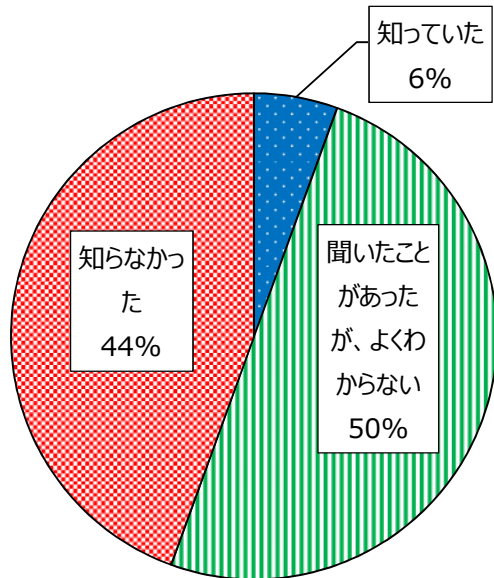
- ・我が家は夫婦共働きの子育て世代ですが、これまでは夫が激務で、毎日帰りが深夜で、妻の私がいわゆるワンオペ育児でほんとに疲れていました。しかし、コロナウイルスの感染拡大で、夫の職場がテレワークとなり、私が外に働きに行くことで、家事分担のバランスがとれるようになりました。また、オンライン化があらゆる分野で進み、子供や私の習い事がWEBでできるようになり、時間の有効活用ができており、とても満足しております。
- ・年に何回か行っていたツアーや県をまたぐ個人旅行に行けなくなった。趣味のバトミントンや図書館も利用出来ない時期があって大変ストレスがたまった。友人とも会えないでいる。電車も怖いので減多に乗らなくなった。ランチは支援もかねていくようにしている。食べる時以外は会話せず短時間で終わるようにしている。
- ・職場が完全に在宅勤務になった為、平日はほとんど外に出なくなった。1日の歩数がかかり減ったので、生活習慣病などコロナ以外の健康面も心配。
- ・友人と会う機会を無くした。美容院や歯科検診なども、ワクチン接種までは我慢。近くに住む子や孫に会う回数も減らし月1回としている。会食は自宅でアクリルパネルを設置している。それでも、悪いことをしている気分になることも。そういう時間が長くて、まるで、引きこもり生活。出掛けられる時が来た時、出掛けることが出来るか、一気に老けた気がします。
- ・一番影響が大きかったのは、県外への移動が制限されることです。私の両親は関西に住んでおり、ここ1年直接会って話をすることができていません。好きな時に自由に人と会って会話できないのは、かなり大きい制限だと感じています。
- ・旅行や外出をしにくい環境になり、実行したくとも公言することが後ろめたいライフスタイルとなっている。
- ・ほぼテレワークになり、通勤をする事が、月に1回もなくなった。会社では、現状のテレワーク中心の仕事が良いという意見が多いが、自分の場合、仕事とプライベートの切り分けが、なかなかできないので、少し困っている。あとは、レジャーが、不要不急ということで、サービス提供側もサービスを控えていたりするので、リフレッシュの機会が奪われる形となり、気分転換に困っている。
- ・まず転職を余儀なくされました、二度も。私の技術を活かせる企業に転職したのですが、先行き見えない世の中なので、雇用条件は守られませんでした。家計も不安定で家族に迷惑かけています。現在進行形ですけど。家内も近くの小学校の臨時講師と言う職をやっと手に入れてここ数年家計の下支えをしてきましたが、そこはやはりコロナのせいで時間数減らされ、殆んど収入はありません。大学生の長女も殆んどオンライン授業で、大学生活もエンジョイ出来ません、残念です。長男も今年から通信大学に入り、これもオンライン授業が殆んど。二人とも覇気があまりなく感じます。ところで、コロナ自粛要請で、差別が浮き彫りになっています。心苦しいです。弱気を助けましょう。
- ・電車より車をよく使うようになった。
- ・生活にしても、仕事にしても“今まで通り”ではいなくなをとったこと、が大きく影響している。今、また、これからを考えることが必須となった。また、問題の解決、行動の正解がみえないなか、自分が社会、家族の一員としてどのように動くべきかいろんな、責任を感じた。合わせて、気持ちをコントロールして行くことは難しく、自分の大切にすべきことを改めてよく考える、日々をしっかりと過ごすことをかんがえるようになった。
- ・緊急事態宣言、まんえん防止等重点措置により飲食店の営業が20時までとなり、仕事終わりに行ける店が非常に限られてしまうことに、もう少し何とかならないか？と思ってしまう。(飲食店側の方が死活問題で大変なところ、贅沢な悩みであるが。)

Ⅱ．エシカル消費に関する意識調査

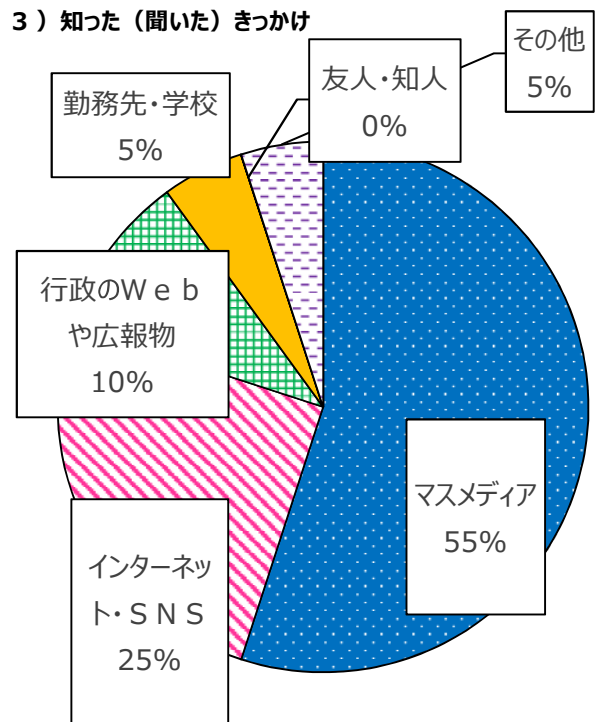
2) 「エシカル消費」という言葉を知っていますか？

3) 「エシカル消費」を何でお知り（お聞き）になりましたか？【2）で「知っている」「聞いたことがある」方】

2) エシカル消費という言葉について



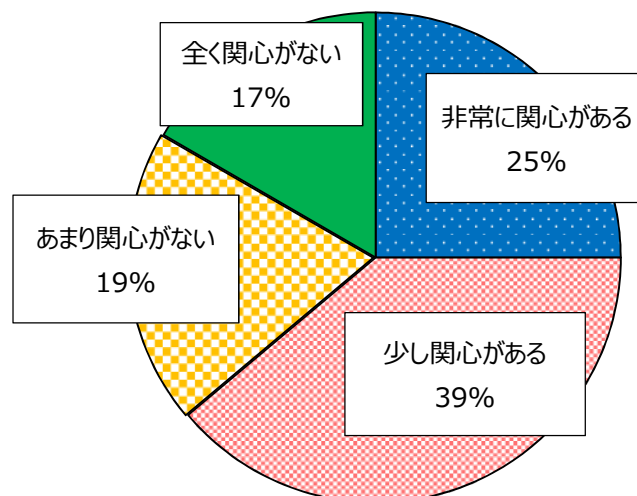
3) 知った（聞いた）きっかけ



その他の内容・不明。その程度の認識。

★ エシカル消費という言葉については、「聞いたことがあったが、よくわからない」との回答が半数を占めています。

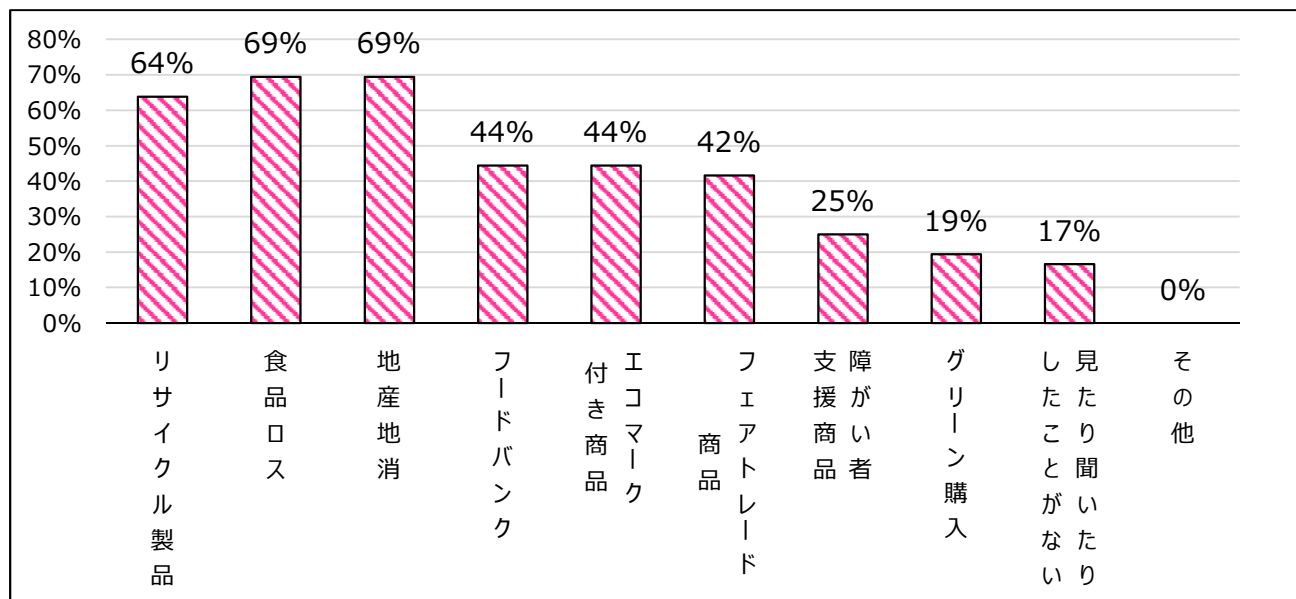
4) 「エシカル消費」にどの程度関心がありますか？



★ 「非常に関心がある」、「少し関心がある」との回答の合計が64%で、「全く関心がない」、「あまり関心がない」との回答の合計の32%を上回りました。

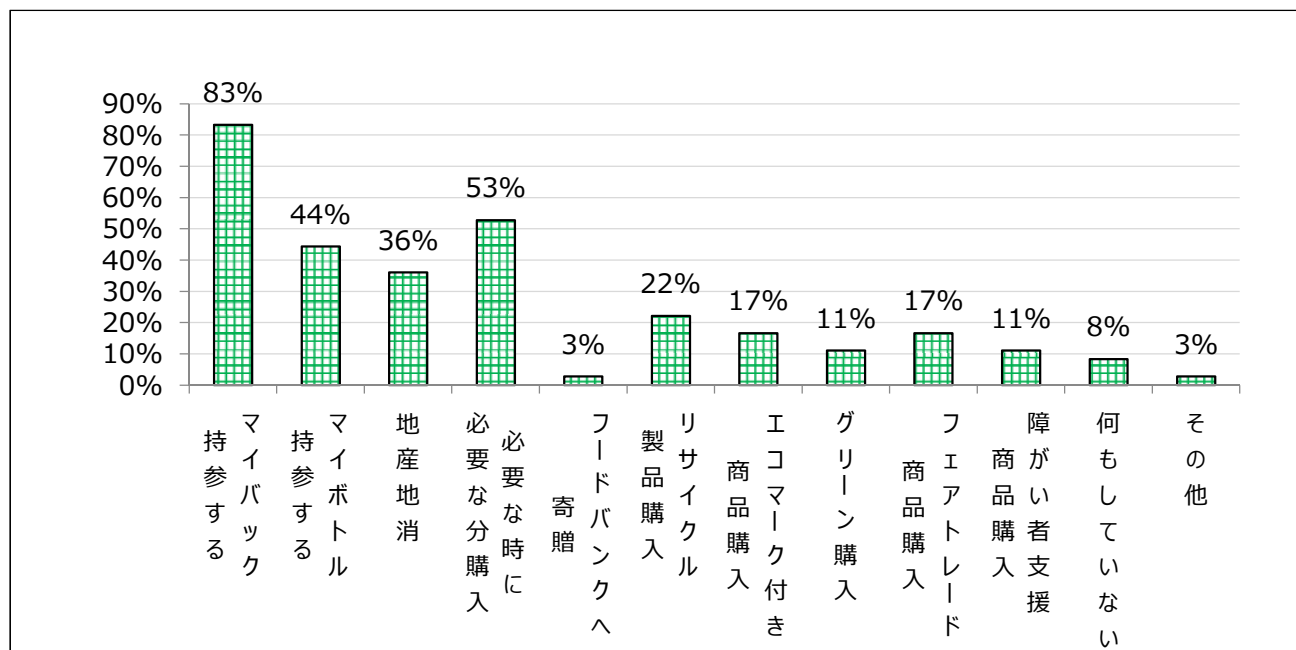
5)「エシカル消費」に関連した言葉や商品で、見たり聞いたりしたことがあるものはありますか？

【複数回答可】



- ★ 「食品ロス／地産地消」（同率）、「リサイクル製品」、「フードバンク／エコマーク付き商品」（同率）、「フェアトレード商品」、「障がい者支援商品」、「グリーン購入」、「見たり聞いたりしたことがない」の順となりました。

6)「エシカル消費」の取組としてできそうなこと、やっていることはありますか？【複数回答可】

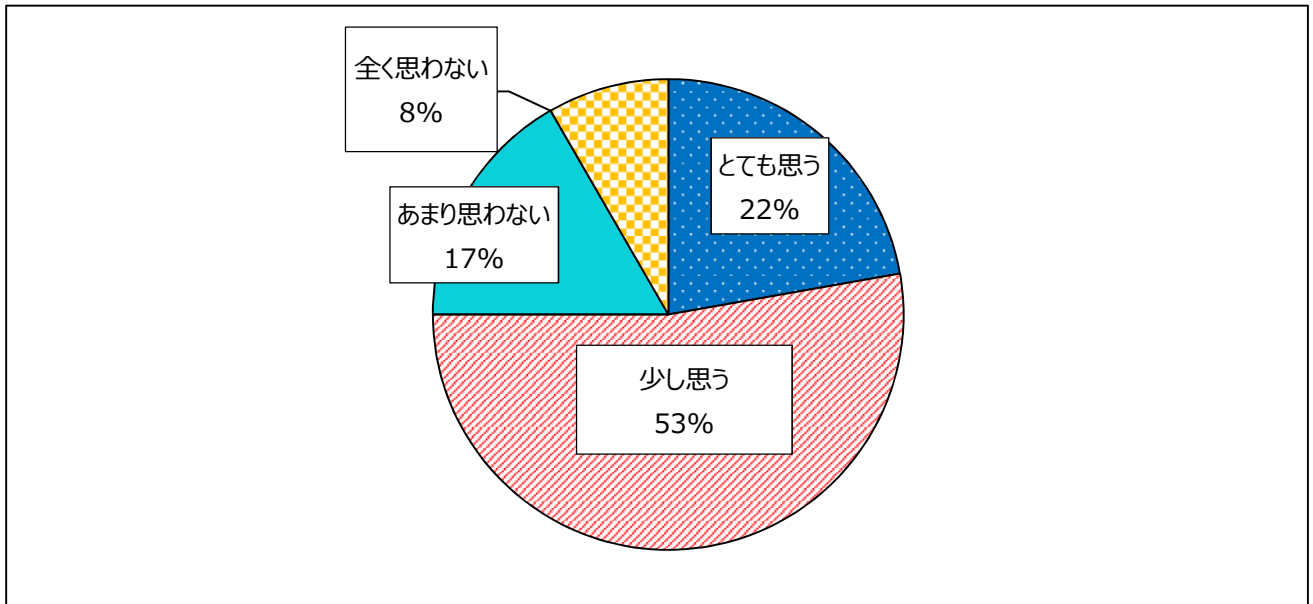


その他の内容

- ・復興支援商品の購入

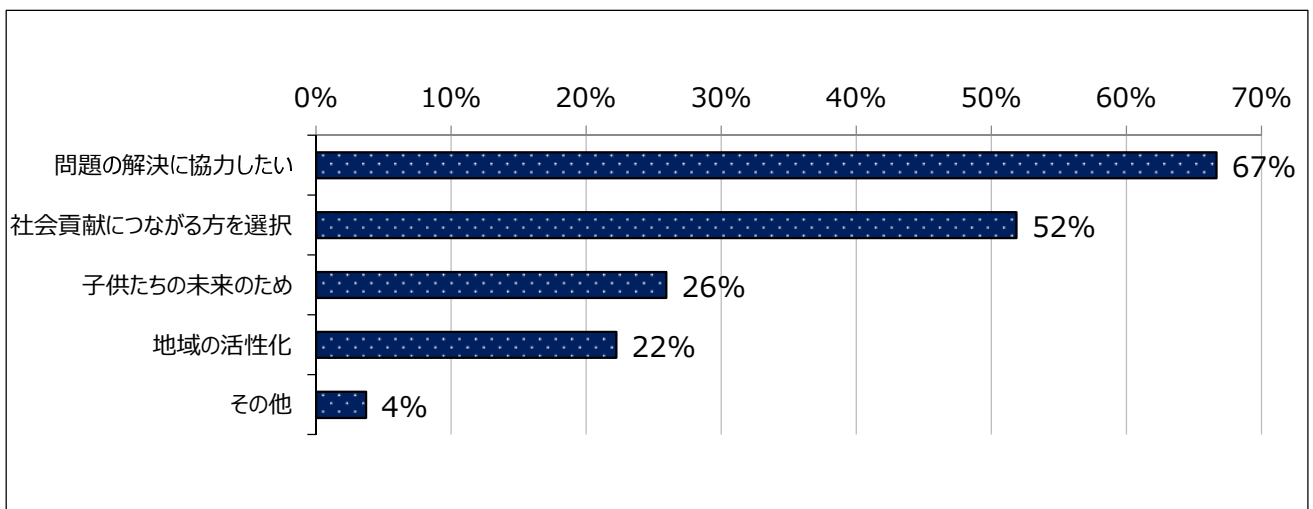
- ★ 「マイバックを持参する」、「必要な時に必要な分購入」、「マイボトルを持参する」、「地産地消」、「リサイクル製品導入」、「エコマーク付き商品購入／フェアトレード商品購入」（同率）、「グリーン購入／障がい者支援商品購入」（同率）、「できそうなこと、やっていることはない」、「フードバンクへ寄贈／その他」の順となりました。

7)「エシカル消費」につながる商品、サービスの購入を検討したいですか？



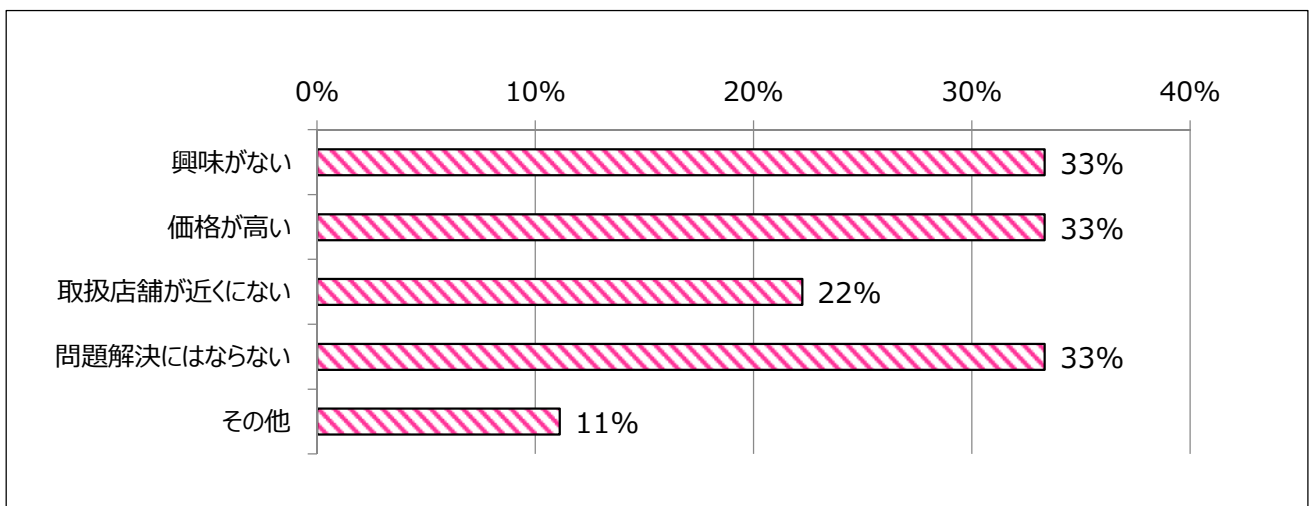
★ 「とても思う」、「少し思う」との回答が、全体の75%を占めています。

8) 7) で「とても思う」「少し思う」と回答した方。その理由はなんですか？【2つまで回答可】



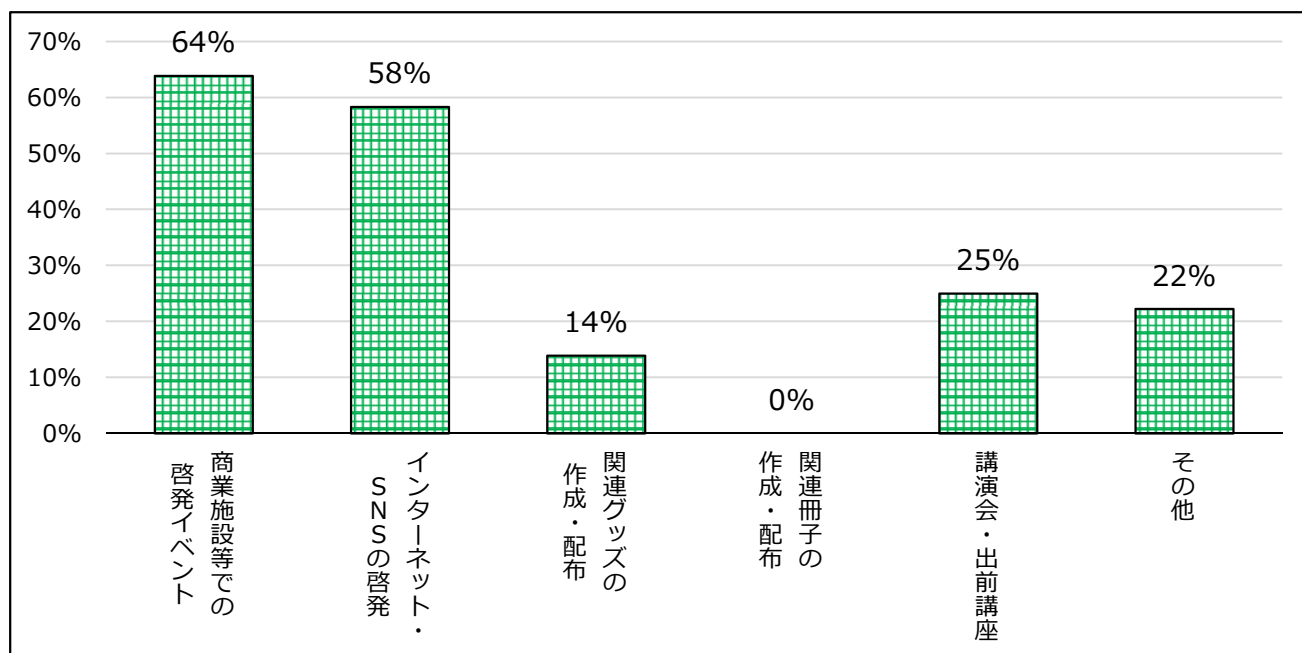
9) 7) で「あまり思わない」「全く思わない」と回答した方。その理由はなんですか？

【2つまで回答可】



10)「エシカル消費」を促進するためには、どのような取組が必要で効果的だと思いますか？

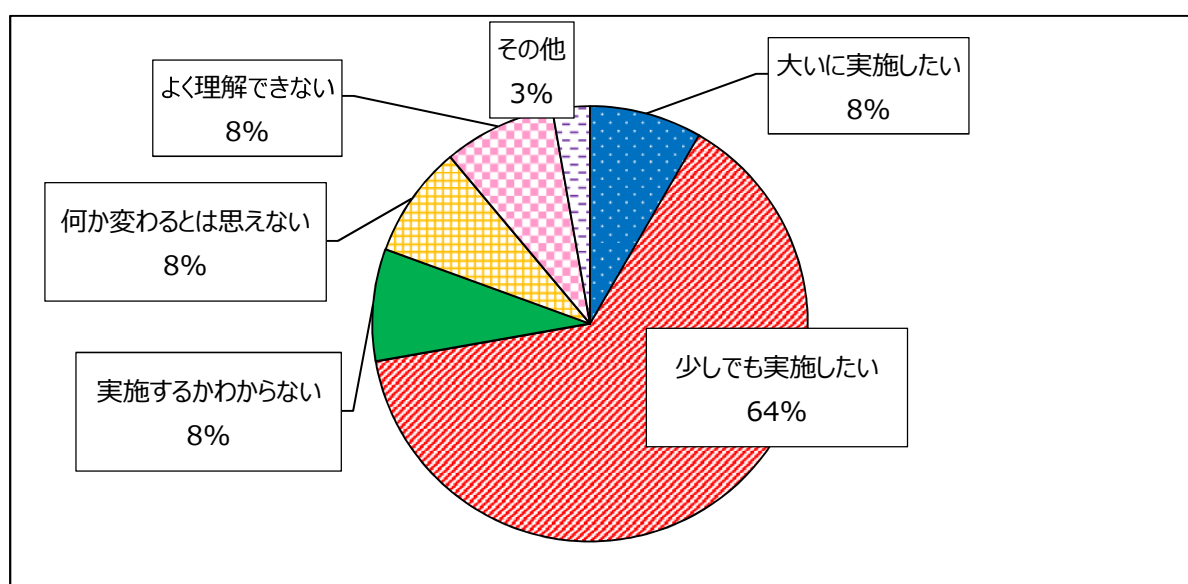
【2つまで回答可】



その他の内容

- ・学校での教育
- ・テレビ・メディアでの啓発
- ・価格の見直し
- ・地域特性、地域スポーツ、行事など生かした、身近な取り組みの草の根活動
- ・子供の頃から、学校の授業等で繰り返し伝えていく。
- ・マイナポイントのような行政の支援をセットにすることで定着を図る
- ・テレビのニュースなどで、短時間に何度も啓発する

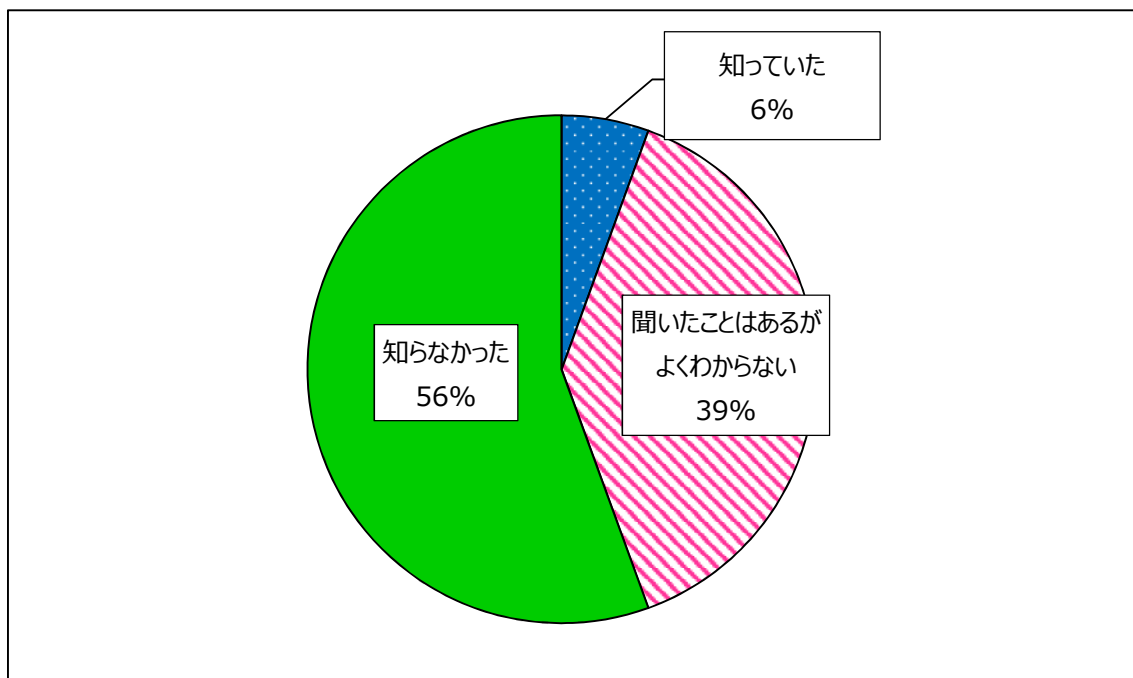
11) アンケートを通して、エシカル消費に対する意識についてどのように感じましたか？



その他の内容

- ・わからない

12)「消費者市民社会」という言葉を知っていますか？

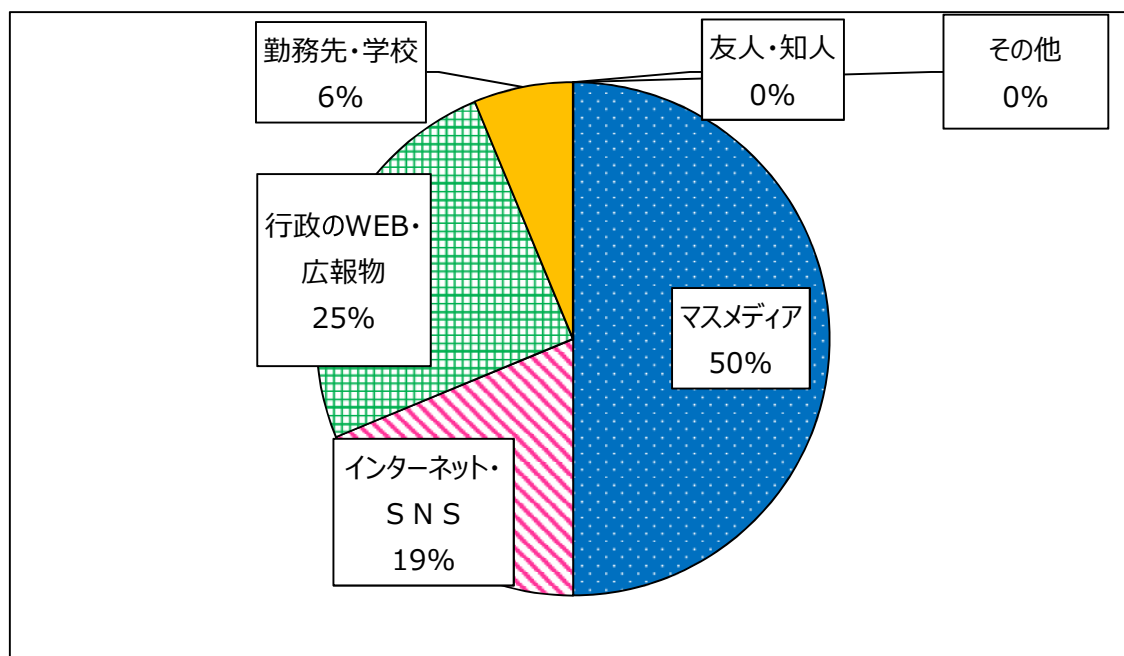


※「消費者市民社会」…消費者一人ひとりが消費を自分の満足のためだけではなく、周りの人々や将来生まれる世代、社会や経済情勢、地球環境などに広く影響を及ぼすことを認識して消費生活を行い、社会の発展と改善に積極的に参加する社会を意味する。

★ 「知らなかった」との回答が過半数を占めています。

13) 12)で「知っていた（意味も理解している）」及び「聞いたことはあったが意味はよくわからない」と回答した方にお聞きます。

消費者市民社会を何でお知り（聞いた）になりましたか？



14) エシカル消費・消費者市民社会という考え方について、自由に御記入ください。

- 難しく考えると生きづらくなるので、無理なく無意識に実現する社会になると良いなと思います。
- 海のプラスチックゴミや食品ロスに関しては心を痛めています。少しでも削減に努めたいと思っていますがプラスチックを使用していない商品を買おうと思ってもなかなかありません。個人の力では限界があり、社会全体で考えるべき問題だと思います。日本ではいつでも好きな物がいくらでも買え、外食も何でも食べられる社会環境となっているため、それが食品ロスに繋がっていると思います。皆がもったいないという感覚が無くなっている気がします。また、商品の過剰包装が問題と考えます。もっと簡素化に企業も取り組まなければいけないと思います。更に、賞味期限、消費期限を過ぎてても十分に食べられる商品もあり、設定基準の見直しも検討しなければならないと思います。子どもの時から家庭や学校で食品は大事なもので無駄が出ないように工夫していく教育をして欲しいと思います。
- SDGS の意義などは職場のE ラーニングで知っていましたが身近な問題として考えることはあまりありませんでした。商品パッケージに表記する(現在も既に行っているとは存じますが)などわかりやすくする事がもっと必要だと思います。
- エシカル消費・消費者市民社会を実施しようとする、購入商品の値段は上がる傾向にあると思う。価格を抑えめにするか、その価格で納得して購入するストーリーを見せることが必要。まずは「エシカル消費」という言葉が幅広い年齢層に浸透するのが重要だと考える。以前、JAS マークがついた有機栽培玄米を自分の収入から購入したところ、配偶者が「そんな高いものを買って・・・」と不満を漏らし、夫婦仲が悪化したことがあった。
- 今まで日本人は消費が美德の様な考えでやって来たと思います。企業も自己利益ばかりを追求してきた結果、地球環境が大変なダメージを負ったのでは無いでしょうか。昔、聞いた言葉に『地球（環境）を大切にしてください。それは祖先から受け継いだものではなくて未来の子どもたちから借りているものだからだ。』というのがありますが、今ほどこの言葉が重く感じられることはなかったと思います。母なる地球を守りたい！との思いで日々、暮らしています。
- これは以前にも述べましたが、こうした啓蒙活動は「徐々に」進めることが大事だと思います。私の勤務先（社内）でも、SDG に取り組むチームがありますが、自分たちのPR（出世）のために活動しているのがありありで、個人的には嫌悪しています。そういう意味では、行政の方々が、ポスターや広報、或いはイベント（例、フロンターレ、ブレイブサンダース、NEC レッドロケッツの試合）の際の呼びかけ等で、こうした考え方をさり気なく紹介して頂くのは、中立性があって良いかと思います。
- 近頃、SDGs を意識した、エコ商品やフェアトレード商品を見かけます。その特性が謳われていれば個人的には積極的に購買したいと思いますし、その商品自体の質や魅力をあげて、マーケティングを強化すれば、そのような考え方に興味のない人にも届いていくのではと考えます。
- 行いは正しいと思いますが、値段の高さと、それを行っている人の態度が受け入れられません。基本的にエシカル消費は良い事で、やっていないなんてありえない、と言う態度だし、それを相手にわからせようと躍起になっている感が否めない。押し付けがましさが、全面に出ていると思います。環境に優しいのであれば、人にも優しくあるべきではないでしょうか？
- エシカル消費は今回はじめてしりました。行政が企業と連帯して啓蒙が必要と感じました。

- 理念や考え方は非常に共感できますし、それ自体を否定する人はいないと思います。問題はこれをどのように広げて、市民生活に定着させるかです。やはりリサイクル製品やフェアトレード品は通常の商品に対して価格が高いイメージがありますし、実際高いです。どうしても価値観だけでなく経済水準によってそういった社会的に意義のある製品が消費されないことが多いです。認定を受けた事業者の製品やお店の商品は補助が出て価格競争でもそこまで差が出ないようにするのですとか、そういう政策との組み合わせが必要に思います。あとは個人の消費だけでなく、法人の消費にもエシカル消費を推奨することも必要だと思います。今の上場企業はESGにも配慮した取り組みを行われていると思いますが、その辺も一般消費者には見えづらいところです。私個人は家族と川崎エコ暮らし未来館に行ったりしてそういう啓蒙活動、意識活動に取り組んだりもしていますが、小学校の教育メニューに入れたり、社会科見学でそう行った企業の取り組みを見るのもいいと思います。家庭にフィードバックするやり方が難しいですが、何か取り組んだことを書いてみましょう、とかそういう宿題でもいいと思います。
- 国民全員にこのような考え方が広まれば、地球環境が良くなると思いますが、活動を浸透させることは、なかなか難しいと思う。私自身も定年退職後に、消費生活モニター等を経験して、このような活動に興味を持ちましたが、行政機関からの発信については勤めている時には触れることがないと感じました。プラスチックゴミの海洋汚染問題も、マイボトルを使うことやプラスチックストローを使わないなど少しずつですが動きが出てきたのに、コロナの件で持ち帰りのためのプラスチック利用が増えてしまったようです。災害に活動を邪魔されることもあり、思うように進みませんが、テレビや店舗の力を借りて、消費者に啓蒙してほしいと思います。
- 買い物にも地球のことを考える風潮が生まれているのは良いと思う。ただ、そんなことをするくらいならば、誰かが環境破壊を止めればよかったのと思う。何も知らず消費者は環境に悪いものを買って使ってきたと思う。しかし、そうした商品を開発し、莫大な利益を生み出してきたのは大企業だろう。彼らは平然と君臨し、市民が尻ぬぐいをするという構図はなんとも資本主義の汚いところが出ていると感じる。否、このエシカル消費も大企業主催の流行かもしれない。思うところはあるが、地球環境を考える、当然のことであるが、当然のことをやろうというのは社会全体としても良い心がけ、風潮と思う。

